



楽し、たのし！進む、すすむ！励む、はげむ！

われらの弦巻中学校

学校だより発行日 令和8年 1月29日

第9号 世田谷区立弦巻中学校長 加藤ユカ



「優しさいっぱい弦巻中」を心に留めて、1年のスタート

加藤 ユカ

2025年（令和8年）午年がはじまりました。『今年も良い年になりますように！！』と、願って1年をスタートさせました。3学期の始業式を迎え、体育館に標準服をパリッと着こなし集合した弦巻生を目の当たりにして、1年の新しいスタートと、学校では1年間の締めくくりの3学期がはじまるという実感をかみしめました。心がジーンと熱くなりました。

3学期も「優しさいっぱい弦巻中」を心に留めて、チーム「弦巻」心一つに頑張っていきましょう
始業式に次のようなお話をしました。

明日には目が見えなくなるかもしれないと思って、世界を見てください。

ヘレン・ケラー

見えず、聞こえず、当初は話すこともできなかった米国の女性、ヘレン・ケラーさん。日本にも来たことがあります。彼女が書いた本「もしも3日間だけ目が見えたなら」（岡部朱美訳）の一部を紹介しました。

もし、3日間だけ視力が与えられたら、まず自分を支えてくれた大切な人を見たい、翌日は人類のこれまでを見るため博物館や劇場を、3日目は働く人を見るため大都会を訪れたいという。人々にも「見失いがちな本当に価値あるもの」を見極めて欲しいと。

目が見えている私たちは、「本当に価値あるものを見ているのか？」

当たり前が目が見えている私たちは、見えているからこそ、目先のものにとらわれてしまいがちです。明日には目が見えなくなるかもしれないと思って、本当に価値あるものを見ようとしなければいけない。世界に目を向ける目をもたなければと、あらためて、ヘレン・ケラーさんの言葉から教えられました。

星の王子様でもキツネが言っていました。「本当に大切なものは目に見えない。心の目でみなくっちゃ。」と。

さて、3学期がはじまり、あっという間に1か月がすぎ、もうすぐ2月です。ボーとしていたら、あっという間に3学期が終わってしまいます。だからこそ、今日を大切に、限られた時間を大切にしながら、3年生は進学、1・2年生は進級に向けて、しっかりと準備をしていってください。弦巻中学校に関わる皆さんにとって幸多き一年になりますように、「優しさいっぱい弦巻中」でお願いします。

保護者の皆様、3学期もどうぞよろしくお願ひします。全校に「すぐーる」でお伝えしたのですが、子どもたちのSNSトラブル等のことをご心配をおかけしています。学校では、子どもたちの健全育成のために、教育委員会と警察と連携して対応しています。毎年、1学期にネットリテラシー醸成講座、セーフティ教室でもSNSトラブル等を扱った講演会を行っています。今後もメディアリテラシー教育の一層の充実と命の安全を守る教育を実施していきます。この機会に、今一度、スマホの使い方や管理について、お子様とよく話し合っただけると幸いです。

さて、今話題のニュースは、「衆議院の総選挙」「パンダが54年ぶりに日本にいないくなる」などあります。毎日選挙報道があり、これからの日本の行く末に影響がある選挙であるのは間違いないです。みなさんは18歳になれば選挙権を持つことになり、日本国民の一員として、政治に参加することになります。「関心がない」「よくわからない」「誰がなっても同じ」など思わずに、選挙権がない今だからこそ、自分たちの生活を変える政治、選挙に関心をもってください。

さて、私は「パンダが54年ぶりに日本にいないくなる」ことについて、お話したいと思います。もともと、パンダの生息地は、中国の四川省など限られた土地にしかいません。日本にやってきたのは、今から53年目の1972年です。日中国交正常化を記念して「ランラン」「カンカン」オスとメスの2頭のパンダが「平和友好大使」として来日したのが始まります。10月28日は「パンダの日」。この日は、2頭のパンダ、東京都の上野動物園に到着した日として、

「日本とパンダのご縁が始まった日」としています。上野動物園は、その前からパンダの存在を知って、日本の子どもたちにパンダを見せたいと思って誘致に奔走していたそうです。到着後まもなく一般公開され、連日長蛇の列。せっかく並んだのに、パンダの体調が悪く、午前中で観覧中止となり、残念な思いをした人も多くいるそうです。当時私は8歳。パンダブームに乗っかり、パンダに会いたくて、会いたく、会いたくしかたのない女の子でしたが、連れて行ってもらえず、その年の誕生日にはじめてパンダのぬいぐるみを買ってもらいました。一生の宝物にすると手足が取れてぼろぼろになるまで持っていました。上野動物園の入園者数は急増し、まさに“パンダブーム”が社会現象となったのです。この出来事をきっかけに、日本ではパンダが「白黒ふわふわの人気者」



として広く知られるようになり、飼育や保護の取り組みも本格的に進み、和歌山県のアドベンチャーワールドは、これまでに数多くのパンダの繁殖に成功し、日本で最も多くのパンダが生まれた場所として知られています。しかし、生まれた子パンダは4歳ごろまでに中国に返されます。和歌山のパンダは「浜家」と呼ばれ、たくさんの子孫を残し、中国で活躍しているそうです。また、1995年生まれ「タンタン」が阪神・淡路大震災の5年後の2000年に復興を願って神戸王子動物園に贈られました。中国返還が決まっていたのですが、コロナ禍で延び、心臓を悪くして、中国には帰れずに日本で亡くなりました。日本のパンダの歴史は、「上野家」「浜家」「タンタン」が54年間築き、つないでくれたのです。

そして、最後に上野動物園に残った2頭のパンダ「シャオシャオ」「レイレイ」の4歳双子のパンダが、中国へ旅立ちました。赤ちゃんの頃からずっと見ていたので、お別れする悲しさはひとしおでした。

パンダはなぜ返還されるのか知っていますか？

現在、世界中の動物園にいるジャイアントパンダは原則すべて「中国からの貸与」という形で管理されています。たとえ日本で生まれたとしても、中国の所有とされ、中国との協定に基づき、一定の年齢になると返還される仕組みになっています。このルールは中国政府と各国の動物園との間で結ばれる「繁殖研究協力協定」に基づいており、あくまで種の保存と研究目的での貸し出しです。パンダは、絶滅危惧種に指定されていますので、「種の保存」「繁殖」のために、中国だけでなく世界中で取り組んでいます。そして、ジャイアントパンダは単なる動物ではなく、国際関係において「パンダ外交」と呼ばれる役割を担っていると言われています。1970年代から中国は友好の象徴としてパンダを各国に贈与・貸与してきました。日本と中国の友好関係の維持や、相互理解の促進という政治的・文化的な背景も、パンダの貸与や返還には大きく関係していると言われています。返還後のパンダたちは、多くが四川省のパンダ保護センターなどで飼育・繁殖に参加しているそうです。特に日本で育ったパンダは人間慣れしていることが多く、他国に比べて健康で良好な個体が多いとも言われています。実際に、日本から返還された「結浜」「桜浜」「桃浜」は、中国国内でも繁殖に貢献していて、世界のパンダ保全において重要な役割を果たしているそうです。

シャオシャオとレイレイの中国返還は、私をはじめ、多くの日本人にとって寂しいニュースとなりましたが、これは彼らが大人のパンダとして新しい一歩を踏み出すための重要な門出でもあると思うのです。54年ぶりのパンダ不在という現状は、私たちに「希少動物の保護と国際協力」の重要性を再認識させてくれます。日本で生まれ愛され育った3頭（姉のシャンシャンも含む）が中国で元気に過ごし、日本と中国の平和と友情の懸け橋となり、いつの日かその子供たちのニュースが届くことを願うとともに、再び日本でパンダに会える日を楽しみにして静かに待ちます。これまで上野を明るくしてくれた上野家のパンダたちに、心からの感謝！！



○命の授業 11月28日(金)

弦巻中学校では、人権教育の一環として、毎年「命の授業」を行っています。2年生では、助産師さんを講師にお招きして、「命の授業Ⅰ～つながる命」をテーマに、3年生では、「命の授業Ⅱ」として、産婦人科の医師をお呼びしていのちと性についてご講演いただきます。昨年の11月28日に2年生で実施した「命の授業」は、いのちと性の健康教育を通して、生きていく上で必要な身体を守るための性の知識を正しく伝えること、思春期の子どもが、自分の身体と心の働きを知り、正しく判断できるようにする、ことを目的としています。1年生では、保健体育の授業で「二次性徴」について学習しているので、さらに発展させたお話です。講演会の内容は、生命のはじまり、胎児の成長（妊娠の経過）、出産時の生命力、新生児の能力、二次性徴、男女の心理差など、実際に新生児人形を抱っこしたり、妊婦ジャケットを身に付けて妊婦体験をしたりして、命を実感してみました。

この授業では「自分を大切にするとともに、他者を尊重することの重要性を認識し、責任ある性行動をとることができる」ようにすることも大切な目的の一つです。

3年生は、3月に「命の授業Ⅱ」があります。昨年度の保健師さんからお話いただいたことを思い出しながら、義務教育最後の年に、「命を育む」ことについて、しっかりと考えて欲しいです。



○OI組小中交流会 1月20日(火)

弦巻小学校、三宿小学校、旭小学校、桜町小学校の知的固定学級の5・6年生と弦巻中学校の生徒との小中交流会が1月20日（火）弦巻中学校の体育館で行われました。前半は、各学校からの学校紹介を行います。弦巻中学校では、中学校の生活が分かるように動画の作成をしました。また、制服ファッションショーや連合移動教室やダンス発表会で披露したダンスを小学生に見せました。中学生の立派で頼もしい姿に、参加した小学生の皆さん、校長先生をはじめ、引率の先生がびっくりしていました。

後半は、ゲーム大会です。小中合同グループで、まず、紙コップタワーを早く積み上げるゲームです。第1回戦目は、時間内に完成するグループが少なかったのですが、回を重ねるごとに中学



生にリードしてもらいながら、どのグループも完成させることができていました。もう一つのゲームは、ジェスチャー合わせゲーム。お題のジェスチャーをみんなでやって、同じジェスチャーの人がいたら得点です。たくさん笑顔にあふれていました。楽しい時間はあっという間に終わってしまい、お別れの時間です。I組みんなでお見送りをしました。

○ Dive into Diversity～弦巻中学校が世田谷と世界を結び懸け橋に～

留学生の話を聞く会 & 地域の多文化共生を理解する授業(1年生)

毎年1年生では、国際理解教育・人権教育の一環として「留学生の話を聞く会」を実施しています。今年も、株式会社WTOC(ウトック)さんと世田谷区生活文化政策部文化・国際科、せたがや国際交流センター等のみなさんと協働して、世田谷の伝統行事「ボロ市」を題材に、外国人留学生との交流を通して、相手の文化に触れるだけではなく、優しい日本語で魅力を伝える力を養ったり、自分たちの地域の魅力を伝える方法を考えて実践したりするプログラムを行いました。事前学習では、ボロ市の歴史を知り、テーマを決めて、班ごとにボロ市の魅力について調べ、プレゼン資料を作成しました。そのほかにも、世田谷区の多文化共生の現状や優しい日本語講座では、外国人と接するとき心がけることについて学びました。プレゼン資料を作成するだけでなく、とても素敵なパンフレットを作る班もありました。



いよいよ留学生を迎える日。12月16日(火)当日、20名の留学生が来てくれました。各グループごとに、一人ずつ留学生が入って、まずは、「自己紹介」と「自国の特徴や文化」「日本の好きなどころ」などについて話をしてくださいました。その後、グループで「ボロ市の魅力」について調べてまとめたことを発表しました。1月15日(木)5・6時間目は、クラスごとに留学生のお話を聞いた後、ブラッシュアップした各班の発表を留学生と一緒に聞きました。今回は、例年の留学生の話を聞く会を発展させて、自分たちの地域の文化を留学生に伝えることを通して、さらに学びを深めることができました。後日談!!この授業が終わって、留学生の人たちがボロ市見学に行こうと思っていたところに3年生の生徒が会い、会場まで道案内してくれたそうです。

令和7年度世田谷区立中学校生徒作品展 開催 IN 世田谷美術館

令和8年1月14日(水)～18日(日)まで、区内29校の作品が集まり、作品展が今年も開催されました。美術・家庭科・技術・書写等の授業で創作した作品が会場いっぱい溢れていました。子どもたちの感性豊かな作品が並び、どの作品も素晴らしく圧倒されました。

◎は東京都公立学校美術展覧会への作品(2月14日～19日東京都美術館)

<美術>

1年生 レタリングポスター:

2年生 プッシュステンド:

3年生 自画像:

蒔絵皿:

<家庭科>

2年生 ポーチ:

3年生 ウォールポケット:

<技術科>

2年生 わたしのキーホルダー:

木工作品:



<書写>
 1年生： 2年生；
 3年生：

- ◇世田谷区英語スピーチコンテスト レシテーション（暗唱）の部6位
- ◇第15回せたがや子ども駅伝 優郷の学び舎+チーム女子1位 (区間賞)
 男子2位 (区間賞)
 陸上競技部 男子6位 ()
 女子2位 ()
 区間賞：
- ◇東京都読書感想文コンクール 佳作
- ◇世田谷区立中学校読書感想文コンクール 優秀賞
 佳作
- ◇世田谷区生徒競書会 教育委員会賞
 金賞

- ◇世田谷区中学校新人卓球大会 女子シングルス1位 5位
- ◇世田谷区バスケットボール新人大会 女子4位（都大会出場）
- ◇第14回ロータスカップ ヴィーナスの部 フープ 4位
- ◇第10回 TOKYO KOMABA CUP Autumn -東京駒場カップ-
 団体選手権5位 アーネスト RG
- ◇第14回大澤カップ新体操大会 中学生ボール4位
 ジュニア団体4位 アーネスト RG
 ジュニア団体5位 アーネスト RG モアナ
- ◇第45回東京都中学校学年別種目別新人大会 新体操フープ3位
- ◇第68回 東京都中学校新人卓球大会 女子シングルス5位
- ◇第59回東京都中学校アンサンブルコンテスト 銀賞
- ◇高円宮妃杯 JFA 第30回全日本U-15女子サッカー選手権大会
 優勝 (三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース)
- ◇第64回東京都中学校ロードレース大会
 男子1年3km競走 8位 女子2・3年2km 5位

表
彰

<来月の予定> 本年もどうぞよろしく申し上げます。
 ※人権・平和教育の一環として、毎月人権に関わるカレンダーを掲載します。

2月の予定

2月 世界ハンセン病の日
 北方領土返還運動全国強化月間
 インターネット上の人権侵害解消推進月間（大阪府）

2日（月）都立高校推薦合格発表
 4日（水）令和8年度新生上履き販売（～6日）
 5日（木）避難訓練
 6日（金）新生保護者説明会
 10日（火）安全指導 私立高校一般入試（～12日）
 18日（水）全校朝礼 学び舎学校協議会
20日（金）世界社会主義の日
 21日（土）都立高校一次・分割前期入試
 25日（水）学年末テスト（～27日）jinn
 27日（金）学年末テスト 組校外学習 専門委員会
 28日（土）百人一首大会



毎月10日

「あいさつ・声かけの日」

人格の完成を目指して「感謝」
 私たちを見守り、支え、育ててくれている人たちに感謝の気持ちを伝えていませんか？
「ありがとう」を伝えよう！！

<本校のホームページをご覧ください。http://school.setagaya.ed.jp/ttsuki>
 学校日記は携帯電話からもアクセスできます。右のQRコードが携帯サイトです。
 携帯サイトは、緊急のご連絡を掲載することもあります。ご利用ください。携帯では通信費がかかります。
 よろしく申し上げます

